

令和 3 年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書の採択に係る答申

安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	技術・家庭(技術分野)
第 1 推薦	2 東書
第 2 推薦	9 開隆堂

(技術・家庭〔技術分野〕) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> 各内容とも、項目ごとに、「目標」マークが付けられ、目標が示されるとともに、「キーワード」マークが付けられ、関連する語句が示されている。基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」の囲みが 62 か所、「テックラボ」として、工程ごとの基礎的・基本的な技能が 24 ページ掲載されている。 教育の ICT 化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「D」マークが 21 か所表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の最初のページ見開きで、左ページに「技術の見方・考え方」、右ページに「発見！技術の最適化」が掲載され、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示されている。また、各内容第 1 章の最後に、「チェック 技術の見方・考え方」が掲載され、気付いた技術の見方・考え方について、まとめることができるように示されている。 各内容において、技術による問題の解決の学習過程ごとに、「問題解決カード」が示され、問題の解決の進め方の具体例が掲載されている。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス的内容として 19 ページ、「材料と加工の技術」66 ページ、「生物育成の技術」46 ページ、「エネルギー変換の技術」56 ページ、「情報の技術」62 ページ、「総合的な問題解決」6 ページ。 教科書の末尾に、「技術分野の学習を終えて」として、4 領域のまとめや「学んだことを社会に生かす」として技術分野の学習と自分達の生活とのかかわりを考えさせる項目が 4 ページにわたって掲載されている。 小学校での学習の振り返りも兼ね、コンピュータの使い方が 10 ページにわたって示されている。また、プログラミングによる計測・制御についてより学習を深め、高校で学習するプログラミング言語への興味・関心が高まるよう、「今すぐできる！プログラミング手帳」が掲載されている。

	<p>観点 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連について、「他教科」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。 ・導入やまとめの活動内容が全見開き、同じ位置に配置されている。 ・問題解決例は、「問題の発見」、「課題の設定」を同じ位置に配置され、製作、制作、育成の手順について、手順ごとに番号と写真を用いて示されている。
	<p>観点 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「活動」、「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」で示されている活動が取り上げられている。
<p>6 教図</p>	<p>観点 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。 ・基礎的・基本的な技能のポイントについて、製作題材の確認や実習中の確認ができるよう、別冊「技術ハンドブック」に掲載されている。 ・教育の ICT 化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」が 58 か所（うちハンドブック 15 か所）表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。
	<p>観点 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容の最初のページ見開きで、各内容における技術の発展の具体例を取り上げるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について記載している。 ・各内容の設計・計画において、「問題を発見する」、「目的や条件をもとに構想（育成計画）を考える」、「構想（育成計画）を具体化する」、「設計（育成計画）をまとめる」という技術の問題の解決の学習過程が示され、学習過程ごとに具体例が掲載されている。
	<p>観点 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス的内容として 8 ページ、「材料と加工の技術」72 ページ、「生物育成の技術」38 ページ、「エネルギー変換の技術」60 ページ、「情報の技術」80 ページ、「夢をかなえる技術」14 ページ。 ・教科書の末尾に、4 領域に関わる「夢をかなえる技術」が 14 ページにわたって示されている。 ・未来の社会像「Society5.0」や SDGs, 伝統技術や日本の文化について考えるコラムが掲載されている。
	<p>観点 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを示し、教科を示している。 ・「見つける」、「学ぶ」、「振り返る」を基本配列とし、レイアウトされている。 ・題材例は、製作、制作、育成の手順について、手順ごとに番号と写真が用いられ示されている。 ・ガイダンスに特別支援学校での実習の事例が掲載されている。
	<p>観点 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「やってみよう」で示されている活動が取り上げられている。

<p>観点1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みを設け、目標を示している。 ・基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「動作のポイント」マークを21か所、学習の参考になる内容や資料・解説として、「参考」の囲みを100か所掲載している。 ・教育のICT化の視点から、基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「QRコード」が56か所表示され、デジタルコンテンツを利用し、学習できるように示されている。
<p>観点2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスにおいて、「知識や技能を身につける」、「問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」、「学習したことを社会に生かす」の学習過程が漫画で解説され、社会でのものづくりの過程の具体例が掲載されている。 ・各内容において、「問題解決の流れ」の項目が示され、「問題の発見と課題の設定」、「設計と試作」、「製作」、「成果の評価と改善」などの技術による問題の解決の学習過程の具体例が掲載されている。
<p>観点3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス的内容として18ページ、「材料と加工の技術」70ページ、「生物育成の技術」42ページ、「エネルギー変換の技術」50ページ、「情報の技術」68ページ。 ・教科書の末尾に、「技術分野の学習をふり返り、私たちの未来へつなげよう」として4ページ設け、問題解決のふり返りや技術と主体的に関わり合う態度を養う場を設定している。また、「資料」としてコンピュータの操作やプログラミングについて18ページにわたって掲載している。 ・日本の伝統・文化の素晴らしさを伝えるねらいで巻末に「日本各地の伝統的な技・材料・工芸MAP」を掲載している。また、その裏には携帯電話の利用についての資料を掲載している。
<p>観点4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの視点から、中学校の各教科等の学習内容との関連について、「他教科」マークが用いられ、教科、学年、単元概要が示されている。(13) ・導入の活動内容は、全見開きで同じ位置に配置され、活動内容をマークと太字、枠囲いで強調されている。 ・実習例は、「身近な問題の発見」、「課題の設定」、「設計・製作」、「評価・改善」などの学習の過程ごとに枠囲いがなされ、流れが図示されている。
<p>観点5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動として、「課題」、「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」で示されている活動が取り上げられている。